

2020年7月31日

神奈川県ビリヤード協会 殿

(公印省略)

公益社団法人日本ビリヤード協会

6月28日渡しの公益社団法人日本ビリヤード協会宛て質問状について

貴協会より公益社団法人日本ビリヤード協会に対する以下の項目の質問に関して返答いたします。

- (1) NBA 関東支部の実態と関東キャロム会議に対する認識
NBA 関東支部キャロム運営組織の実態性および実効性について公益社団法人日本ビリヤード協会は承認している。
関東キャロム会議を当協会加盟の公認団体として認可する手続きをとった経緯はないが、NBA 関東支部の有識者団体としての機能を有する団体であると認識している。
- (2) 関東キャロム会議議長名の通知の有効性について
関東キャロム会議議長名発文書が NBA に於ける正式文書として効力を有するものではないが、(1)で述べた NBA 関東支部キャロム運営組織内に於ける有識者団体の意見として当該組織が認めているのであれば、当該組織による貴協会への通知としての効力を有すると認識している。
- (3) NBA 関東支部の過去7か年分の事業計画書、事業報告書、収支予算書、収支決算書、役員名簿、総会議事録の開示について
開示いたしません。
- (4) (3)の開示ができない場合の理由について
過去7か年分の事業計画書、事業報告書、収支予算書、収支決算書、役員名簿、総会議事録が存在しないため。
- (5) 「段位認定に関すること」および「地域間のレベル（水準）に関すること」に対する認識および対応について
認定段位が、歴史と格式を備えた、既存プレイヤーのみならず新規プレイヤーが目標とする全国統一的な指標となるのが理想であることは認識している。一方、現状において各支部が地域の振興のために公益社団法人日本ビリヤード協会認定段級位を利用して試合を行う中で、地域毎のレベル差があることも認識しており、是正方策は進行中である。現状で「参加人数によるレベル差」を考慮することは、普及活動を担う地区大会主管の判断であり権利であると考え。よって、運営主体間による協議と調整の上、相互の基準を尊重し試合に出場することを求める。

以上